

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 温根内 通信

2024年3月号 No.330

3月15日(金)発行



進む雪解け 動く動物

3月に入り、釧路湿原はずいぶん雪解けが進みました。地面が露わになり、動物たちにとっては労せず餌を得ることができるようになり、待ちわびていた季節でしょう。

同時に、渡り鳥にとっては移動の季節を迎えています。この日、オオハクチョウの鳴き声のする方に向かってみると、エゾシカの群れと一緒に地面をついばんでいました。少し微笑ましい光景でした。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然 (2/15 ~ 3/14) ☆☆☆



【カモ類の足跡】

湿原内の水面が見えているところへ点々と続いていました。「水かき」が扇のような形状を雪の上に残します。



【アキタブキ】

キク科 秋田路
鶴居軌道跡でフキノトウが早くも顔を見せました。雪解けの象徴ような植物です。



特定外来生物

【アメリカミンク】 イタチ科
繁殖期を迎え、活発に動き出しているようです。散策中に出会っても近づいたりしないようご注意ください。



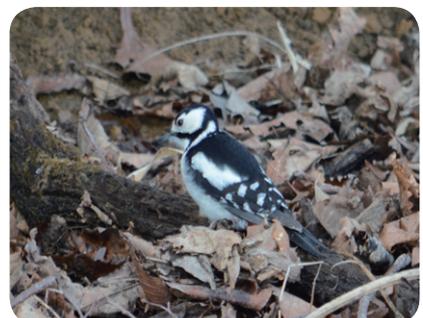
【ヒシクイ】 旅鳥

カモ科 菱喰
繁殖地へ渡っていく旅鳥。20羽ほどがV字の隊列で飛んでいきました。鳴き声は「ガ・ハ・ハン…」。



【ゴジュウカラ】 留鳥

ゴジュウカラ科 五十雀
繁殖期を迎え「フィー、フィー」という囀りが響きます。ぽっさりした体形も愛らしい留鳥です。



【アカゲラ】 留鳥

キツツキ科 赤啄木鳥
しきりに倒木を突いて餌探し。まだ他のカラ類と行動を共にしているようでした。

○表紙の写真 上：湿原に群れるエゾシカとオオハクチョウ 下：マヒワ

○温根内木道周辺で観察された鳥（2/15～3/14）

春の陽気を感じられるようになり、繁殖期を迎えつつある留鳥たちの囀りやキツキ類のドラミングが丘陵地から聞こえてきます。一方で渡りの時期も始まっており、オオハクチョウやヒシクイが上空を通過しています。また、冬の時期に見られるアトリ類やワシ類もたびたび確認されています。4月が迫ると夏鳥もやってきて、いよいよ賑やかになってきます。

鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）	6	トビ	12	アカゲラ	18	エナガ	
1	ヒシクイ	7	オジロワシ	13	カケス	19	ゴジュウカラ
2	オオハクチョウ	8	オオワシ	14	ハシボソガラス	20	キバシリ
3	マガモ	9	ノスリ	15	ハシブトガラス	21	ミソサザイ
4	カワアイサ（3/6 温根内初確認）	10	コゲラ	16	ハシブトガラ	22	マヒワ
5	タンチョウ	11	オオアカゲラ	17	シジュウカラ	23	ペコヒワ

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 木道が一部通行できるようになりました ☆☆☆☆

このたび木道の改修が一部終了し、展望テラスまで迂回して通行できるようになりました。新しくなった木道をお楽しみください。まだ工事中の区間があり、右の図の赤線の区間は3月20日まで通行を規制しております。全線が通れるようになるまでもう少しお待ちください。



開通した新しい木道



☆☆☆☆ 今年度を振り返って 指導員が感じたこの1年 ☆☆☆☆

私がビジターセンターに勤めてから8年が経とうとしています。この1年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したのをきっかけに観光客が戻り、当センターと木道も多くの方が訪れました。野外授業や研修などで訪れる方々も多く、完全にコロナ禍以前の状態に戻った、そんな印象の1年でした。

さて、そのほかに私が特に感じたことは、「とにかく暑かった」ということでしょうか。全国的にもこの夏の暑さは話題になっていたと思います。木道を案内する際、いつも以上に熱中症に気を遣いながら歩いた記憶があります。また、この1年は海外からの来訪者もとても多く見られました。秋に、研修のために世界各国から釧路湿原を訪れた方々を案内する機会がありました。そこでその研修生の皆さんに、「皆さんの国では今年の夏、暑くなかったですか？」と私が質問したところ、口をそろえて「暑かった！」という答えが返ってきました。あの異常な暑さは、やはり世界規模だったようです。

夏の暑さは植物にも影響を与えているように見えました。その頃の温根内通信にも書いていますが、植物の開花がとにかく早く、記録



海外の研修生を案内している様子

が残る中で最も早い開花時期を記録した種がいくつもありました。またこれも暑さの影響がどうかわかりませんが、樹木の実が極端に少なかったのも気になります。そういえば、一年で最も寒いはずの先月の2月、最高気温が10℃を超える日があり、これまた驚かされました。雪の量も年々少なくなっているように思えます。温暖化の影響でこの気温が今後、当たり前になっていくとも言われており、なんとも恐ろしい限りです。とはいえ、この状況に立ちすくんでいるだけというわけにもいきません。案内する我々の方もこれまで通りではなく、例えば時期や時間帯をずらしたりするなど、この暑さも考慮したプログラムに少しずつ変えていく必要性も出てきていると思います。

（温根内ビジターセンター指導員 藤原伸也）



7月の小学校木道解説の様子
（みんな暑そうです…）

☆☆☆☆☆ 自然ふれあい行事 2024年度の予定 ☆☆☆☆☆

4月

【春の足音を聴きに行こう】

7日(日) 10:00～12:00

釧路湿原の環境や生態系を中心に学びながら早春の木道を歩きます。現在、参加者受付中!(0154-65-2323)



5月

【早朝バードウォッチング】

19日(日) 8:00～10:00

鳥の活動が活発な早朝、釧路湿原とその周辺に集まり始めた夏鳥を探します。



6月

【初夏の花を見に行こう】

9日(日) 10:00～12:00

花の季節到来! 湿原を演出する可憐な花や目立たないスゲの花などを観察します。



7月

【夏の樹木を見に行こう】

7日(日) 10:00～12:00

緑あふれる夏。草木はどうやって花や実をつけ、次世代へとつないでいくのでしょうか。



【ホタルの週末】

12日(金)～14日(日) 18:30～21:00

釧路湿原に棲むヘイケボタル。そのふしぎな生態を学び、生息環境と光る姿を見に行きましょう。



8月

【夏休み! 外来植物を探そう】

4日(日) 10:00～12:00

夏休み特別企画第1弾。温根内周辺の外来植物を観察し、その環境について考えます。



【夏休み! ザリガニウォッチング ～ウチダザリガニ編～】

18日(日) 10:00～12:00

夏休み特別企画第2弾。特定外来生物のウチダザリガニを捕獲し、外来種の脅威と湿原への影響を学びましょう。

9月

【アイヌの人々が利用した植物】

1日(日) 10:00～12:00

アイヌ民族が利用した春の植物を観察しながら、彼らの知恵を学びます。



10月

【ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～】

6日(日) 10:00～12:00

釧路湿原に棲む絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を学び、生息環境を観察します。



【秋の紅葉を見に行こう】

20日(日) 10:00～12:00

紅葉の季節。鶴居軌道跡の樹木を中心に色づいた木々や実を見つけてみましょう。



11月

【初冬の植物を見に行こう】

10日(日) 10:00～12:00

本格的な冬を前に、植物がどのように冬を越す準備をしているのか観察します。



【クリスマスリースを作ろう】

24日(日) 13:00～15:00

クリスマスを前に、自然の素材を使ってオリジナルリースを作りましょう。



12月

【湿原の「かたち」を見て歩こう】

8日(日) 10:00～12:00

花や葉が枯れ落ち、遠くまで見渡せるこの時期。普段注目しない湿原周辺の「かたち」にスポットを当てます。



1月

【湿原アニマルトラッキング】

19日(日) 10:00～12:00

雪上に残る動物の痕跡から、冬の湿原にはどんな動物が暮らしているのか考えます。



2月

【湿原の裏山でスノーシューハイク】

16日(日) 10:00～12:00

残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。



3月

【温根内の歴史を探訪しよう】

16日(日) 10:00～12:00

過去の写真などから、温根内周辺の現在までの歩みを紐解きます。



～開館時間が変わります～

4月から、ビジターセンターの開館時間が変わります。夏季(4/1～10/31)の開館時間は、**9:00から17:00まで**となります。

現在工事中の木道も、もうすぐ開通する予定です。Facebook等で最新情報をご確認ください。

月刊 温根内通信 No. 330

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185
E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

fFacebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)
休館日: 毎週火曜日 (12/29～1/3は休館) 入館無料